



京大広報

No. 557

2001 5

目次

大学の動き

- 総長補佐の新設.....1082
- 部局長の交替.....1082

部局の動き

- 総合情報メディアセンター新棟竣工式典.....1082

化学研究所附属

- バイオインフォマティクスセンターの設置...1083

- 日誌1084

栄誉

- 樋口隆昌名誉教授が日本学士院賞を受賞.....1085

随想

- 教官の開講日と授業開始日のズレ

名誉教授 小野山 節.....1086

資料

- 平成13年度入学試験諸統計.....1087

公開講座

- 農学研究科附属演習林公開講座

森のしくみと働き - 芦生演習林への招待 - ...1091

お知らせ

- 平成13年度創立記念行事音楽会の開催.....1092



総合情報メディアセンターバーチャルスタジオ

関連記事本文1082ページ



京都大学広報委員会

<http://www.kyoto-u.ac.jp/>

大学の動き

総長補佐の新設

このたび、総長の職務に関し、副学長とともに総長を補佐し、企画立案及び連絡調整を行うため、総長補佐3人を置くことになり、平成13年4月10日開催の評議会の承認を得て、次の3人が委嘱された。

なお、任期はいずれも平成13年4月10日から平成13年12月15日までである。

桂キャンパス・情報基盤担当

土岐憲三工学研究科教授
(土ホシステム工学専攻ライ
フライン工学講座担当)



大学評価・広報担当

森本 滋法学研究科教授
(民刑事法専攻商事法講座担
当)



社会連携・国際交流担当

塩田浩平医学研究科教授
(生理系専攻生体構造医学講
座担当)



部局長の交替

防災研究所長

池淵周一防災研究所長の任期満了に伴い、その後任として入倉孝次郎教授(地震災害研究部門担当)が、5月1日同研究所長に任命された。任期は平成15年4月30日までである。



部局の動き

総合情報メディアセンター新棟竣工式典

総合情報メディアセンターは、3月22日(木)に今春竣工した新棟(鉄筋コンクリート造4階建5,378㎡)の竣工式典を、長尾 真総長はじめ部局長、名誉教授等学内外の関係者150人あまりの出席のもとで開催した。

午後2時から、2階マルチメディア講義室で竣工

式典が開催され、富田真治総合情報メディアセンター長が、新棟の建設に尽力頂いた関係者への謝辞を述べ、今後の情報メディアを活用した教育、研究の進展への一歩としたいとの抱負を込めて挨拶した。長尾総長からは、コンピュータとネットワークを活用した情報教育、語学教育の拠点となるようにとの

期待が述べられた。その後、細田重好施設部長の工事報告、文部科学省清水潔高等教育局審議官、伊藤精彦北海道大学情報メディア教育研究総合センター長の祝辞が述べられ、工事関係者に感謝状が贈呈された。引き続き、セレモニーとして、マルチメディア講義室を利用した遠隔講義システムの紹介、総合情報メディアセンターの美濃導彦教授、壇辻正剛教授による記念講演等が行われた後、センター教官の案内により新棟のマルチメディア演習室、CALL教室、バーチャルスタジオ、オープンスペース・ラボ

ラトリー等の施設見学が行われた。

この後センター内フリーメディアコーナーで開かれた記念祝賀会では、本間政雄事務局長の挨拶、西尾章治郎大阪大学サイバーメディアセンター長の祝辞が述べられ、文部科学省阿部矩敏文教施設部大阪工事事務所長の発声のもと施設棟の竣工を祝し、和やかな歓談が続き、盛会のうちに午後7時過ぎに閉会した。

(総合情報メディアセンター)

化学研究所附属バイオインフォマティクスセンターの設置

平成13年4月1日、化学研究所附属バイオインフォマティクスセンターが宇治キャンパス内に発足しました。

本センターは、急増するゲノムの情報をバイオサイエンスの広範な知識と統合した情報基盤を整備し、ゲノムから生命システムへの情報構築原理を明らかにする基礎研究、ならびにそれに基づく応用のための情報技術の開発研究等、バイオインフォマティクス(生命情報学)の研究を推進することを目的とし、次の3研究領域(教授3人、助教授3人、助手2人の専任教員)から構成されています。

① 生命知識システム領域

ゲノム解析研究の進展とともに、配列情報、発現情報、変異情報が系統的に得られるようになり、ゲノムから生命システムの情報構築原理を理解する試みが始まっていますが、従来のゲノム解析の方法論やゲノム解析がもたらす情報だけでは、そのような原理の解明は不可能です。これまでに蓄積され生命科学の膨大な知識を体系化し、自然界の法則、とくに物質間相互作用や化学反応に関する法則と関連付けて、生命のシステムを理解していく必要があります。本研究領域では、生命システムに関するデータベースの構築と、それに伴う新しい情報技術の開発を行い、ゲノムから生命システムへの情報構築原理を探求します。

② 生物情報ネットワーク領域

新しいバイオインフォマティクス研究は、単なる情報科学の研究ではなく、新しい実験科学と融合した情報科学でなければなりません。本研究領域では、新しい実験技術に伴う情報処理技術の開発と、その情報をゲノム配列情報と統合して解析する技術の開発を行い、実際の実験データからネットワークを予測し、また逆にネットワーク予測に基づく実験プロジェクトのデザインを行います。

③ パスウェイ工学領域

バイオサイエンスでは、基礎研究から実用化・製品化へのプロセスが短く、研究成果が直ちに新産業の創出を促し、人類の福祉に貢献されると期待されています。ゲノムの情報に関連しても幅広い応用の可能性があると考えられています。多数の遺伝子の相互作用ネットワーク(あるいはパスウェイ)から有用性を見いだす技術がなければ、ゲノム情報をもとにした産業化もあり得ません。本研究領域では、基盤データベースに含まれる生命システムの情報を有効に利用し、新しい応用研究に適用するパスウェイ工学の技術を開発し、幅広い産業分野への技術移転を図ります。

化学研究所では、生命のはたらきとは、個々の遺

伝子あるいはタンパク質に還元できるものではなく、本質的に多数の遺伝子あるいはタンパク質が複雑に相互作用したネットワークのシステムで実現されるものであるとの考え方にに基づき、世界に先駆けて相互作用ネットワークデータベース：Kyoto Encyclopedia of Genes and Genomes (KEGG)を開発し、ゲノムネットの中心システムとして提供してきました。このような研究をさらに発展させ、ゲノムから有用性を見いだす情報技術力で国際的に優位に立つことにより、我が国の経済の発展と社会の福祉に貢献することが、本センター設立の目的です。また、これらの研究領域は理学研究科（生物科学専攻）および情報学研究科（知能情報学専攻）の協力講座となっており、生命科学研究科をはじめとした他研究科とも協力して、京都大学におけるバイオインフォマティクス教育を行います。

なお、本センターの設立により、組換えDNAの基礎研究と実験技術の開発研究、研究技術の普及と専門研究者の養成に大きな貢献を果たした附属核酸情報解析施設（昭和56年度設立）及び生命活動を可能にしている生物情報の流れを遺伝子・分子・細胞レベルでコンピュータ解析し、遺伝情報を担う生体高分子およびその相互作用のネットワークの機能発現原理を理論的に解明してきた生体分子情報研究部門情報設計領域（昭和60年設置、平成4年改組）は、その役割を終えることとなりました。

最後に、本センターは我が国におけるバイオサイエンス研究の情報基盤として、またゲノム情報の有効利用と産業化を行うための研究資源として、さまざまな研究支援活動を行う重要なセンターとして期待されています。

（化学研究所）



バイオインフォマティクスセンターデータベース作業室



日誌

2001.3.1 ~ 3.31

- | | | |
|------|--|------------------------------|
| 3月1日 | 放射性同位元素等管理委員会 | 総長他と懇談 |
| 2日 | 入学者選抜学力試験（医療技術短期大学部） | 13日 入学者選抜学力試験（後期日程試験）（14日まで） |
| 6日 | 評議会 | 16日 卒業式（医療技術短期大学部） |
| " | 教育課程委員会 | " 制規等専門委員会 |
| 8日 | タイ王国 Numyoot SONGTHANAPITAK ラジャマンガラ工科大学長他2人来学、 | 21日 国際交流委員会 |

3月22日 連合王国 ユネスコ青少年交流プログラム
ム ノッティンガム大学教職員一行
(Belinda HARRIS 講師他4人) 来学,
総長他と懇談
23日 修士学位授与式
" 博士学位授与式

26日 卒業式
27日 評議会
" 大学評価委員会
29日 国際教育プログラム委員会 (KUINEP)
" 附属図書館商議会

荣誉

樋口隆昌名誉教授日本学士院賞を受賞

このたび、樋口隆昌名誉教授が日本学士院賞を受賞されることになりました。授賞式は6月中旬日本学士院で行われる予定です。

以下に同名誉教授の略歴、業績を紹介します。

樋口隆昌名誉教授は、昭和25年名古屋大学理学部生物学科を卒業後、岐阜大学農学部助手、講師、助教授、教授を経て、昭和43年京都大学木材研究所(現、木質科学研究所)教授に就任、リグニン化学部門を担任された。昭和53年から6年間に及び、同63年から3年間木材研究所長を務められた。平成3年停年により退官され、京都大学名誉教授の称号を受けられた。その間、国際学術面ではカナダの国立平原研究所(NRC)客員研究員、フランスのグルノーブル大学理学部客員教授、国際木材科学アカデミー会長として活躍された。また昭和62年、グルノーブル大学名誉理学博士の称号を授与され、同63年から、米国科学アカデミー外国人会員として活躍、現在に至っている。



樋口名誉教授の今回の受賞対象となったのは「木質成分の生化学的研究 リグニンの生合成と微生物分解機構の解明」に関するものである。同名誉教授は、1950年代国際的に重要視されていた、木質高分子のひとつであるリグニンの生化学的重合にペルオキシダーゼが関与することをウイーンでの国際生化学会で初めて発表、世界的に注目された。以来、一貫してリグニンの生合成と生分解の機構解明に貢献してきた。先ず、放射性同位元素を用いたトレーサ

ー研究に基づき、植物リグニン生合成経路モデルを提案した。また、関与する酵素系を解明することによって各種植物リグニンの相違点を決定づける鍵酵素のひとつであるO-メチル転移酵素をはじめ各種重要酵素の特性を解明してきた。一方、リグニンの微生物分解研究においては、日米科学セミナーの組織委員長としてリーダーシップを発揮、リグニン分解酵素系による反応機構の解明に著しい貢献を果たした。中でも、リグニン分解酵素系による前例のないリグニン及び関連化合物の非フェノール性芳香核の開裂反応を初めて証明し、国際的にも高く評価されている。

これらの功績に関連して、昭和60年日本農学賞、同62年アメリカ化学会アンセルムペイエン賞、平成2年紫綬褒章、同4年藤原賞などを受賞された。

(木質科学研究所)

随想

教官の開講日と授業開始日のズレ

名誉教授 小野山 節

4月、新学年が始まる時、学生にとって先ず気になるのは受講しようと思う授業がそれぞれ何日から行われるかということであろう。二回生以上は掲示板に出されている各教官の「開講日」を見て予定を立てることになる。ところがその開講日は、事務室でもらった『学生便覧』の予定表に指定されている「前期授業開始」日の翌週であることが多い。なぜ1週間ほどのズレがあるのだろうか。

この1週間の存在に重要な意味を私が感得したのは、1981年5月のオックスフォードにおいてであった。このズレが気になった時から30年近い歳月が流れていた。

1952年に新三回生として史学科陳列館に通い始めたとき、陳列館玄関の東側にあった掲示板を見て、文学部名で出されている授業開始日と各教官の開講日がなぜ食い違っているのかを先輩に尋ねると、その先輩はAkademische Freiheitであると教えてくれた。十分に納得できる説明ではなかったけれども、そんなものかとそのまま受止めて時が過ぎた。そのうちに、この習慣は明治時代から続いていることを知った。漱石の小説に登場する主人公、三四郎が新学年の初めに経験したのも同じことであった。1908年、講義が9月11日に始まるということで、三四郎は教室へは行っていった。「鐘は鳴っても先生は来なかった。其代り学生も出て来ない。次の時間も其通りであった。三四郎は癩癩を起して教場を出た。……夫から約十日許り立ってから、漸く講義が始まった。」

30年の間に掲示の仕方に少し変更があった。1970年前後の頃だったかと思うが、教務掛が各教官の開講日掲示を拒否したからである。文部省からの通達によるのか、誰かが筋を通じた結果なのか分らないけれども、授業開始日がすでに過ぎていのに改めて開講日を出すのはおかしいという。そこで、各専攻の研究室が関連のある教官の開講日を伝統にしたがって掲示することになり、現在に至っている。



1981年4月に、Ashmolean Museumが所蔵するシュメール文明関係の遺物を調査する目的でオックスフォードへ行った。5月初めに買求めた*Oxford University Calender 1981-82*は、オックスフォード大学の機構や教授・講師等に関するさまざまな情報が盛り込まれている便覧である。ただし講義題目の提示は別にある。その便覧の最初に掲げてあるDates of Term 1982-4とDates of Full Term 1982-4とが、授業開始日と開講日の間にあるズレおよそ1週間の意味を知るきっかけとなった。

例えば1982年のHilary Termは1月7日(木)から3月25日(木)までとされているけれども、その間の1月17日(日)から3月13日(土)までがFull Termと定められている。M先生にお聞きすると、Full Termというのは講義のある間であり、Termとして前後に長く取ってあるのは、準備と復習の期間を設定してあるということであった。さらに感心したのは、Full Termが日曜日から始められていることである。

十日のあいだ心身を整え十分に準備して講義を始める教師とその期間に気構えを充実させた学生との間に交される学術的交流が、密度の濃い質の高い内容のものになることは、ほとんど確実であろう。明治時代にヨーロッパから大学の制度を導入したとき、この期間を設けることの意義をなぜもっとよく説明しなかったのだろうか。おそらくヨーロッパにおいて発達した大学制度がよく理解されていなかったからであろう。

初めからズレの存在意義が説明されておれば、三四郎も癩癩を起さずにすんだ筈である。このような状況から判断すると、日本の大学は制度を受容するときから理解が不十分だったうえに、小手先の改革を行って制度疲労を加速してきたように感じられてならない。

(おのやま せつ 元文学部教授

平成7年退官、専門は考古学)

資料

平成13年度入学試験諸統計

1. 募集人員・志願者数・合格者数・入学者数等調

学部・日程		募集人員	志願者数	第1段階選抜合格者数	受験者数	合格者数	入学 辞退者数	追加 合格者数	入学者数
総合人間 学 部	前期(文系)	55 [^]	234 [^]	225 [^]	219 [^]	55 [^]	1 [^]		130 [^]
	前期(理系)	55	207	199	198	56			
	後 期	20	372	320	198	20			
文 学 部	前 期	190	567	566	563	193			224
	後 期	30	379	301	150	31			
教育学部	前 期	40	160	157	155	42			63
	後 期	20	155	142	94	21			
法 学 部	前 期	320	883	883	876	322	1		357
	後 期	20	438	345	109	36			
経済学部	前期(一般)	160	473	473	467	160	5		241
	前期(論文)	50	325	254	245	50			
	後 期	20	579	579	343	36			
理 学 部	前 期	271	953	910	896	271	5	5	301
	後 期	30	1,016	972	647	30			
医 学 部	前 期	90	431	411	399	93			103
	後 期	10	229	150	76	10			
薬 学 部	前 期	70	212	212	202	71	1		80
	後 期	10	151	151	92	10			
工 学 部	前 期	874	2,396	2,396	2,367	874	5	3	975
	後 期	101	1,073	806	423	103			
農 学 部	前 期	240	736	736	730	250	2		308
	後 期	60	799	799	504	60			
小 計	前 期	2,415	7,577	7,422	7,317	2,437			
	後 期	321	5,191	4,565	2,636	357			
合 計		2,736	12,768	11,987	9,953	2,794	20	8	2,782

〔外国学校出身者のための選考の実施結果(外数)〕

学 部	募集人員	志願者数	第1次選考 合格者数	受験者数	合格者数	入学辞退者数	入学者数
法 学 部	20人以内	40 [^]	21 [^]	13 [^]	6 [^]	[^]	6 [^]
経済学部	10人以内	16	13	7	4		4

<工学部・農学部学科別内訳>

学部(学科)・日程		募集人員	志願者数	第1段階選抜合格者数	受験者数	合格者数	入 学 辞 退 者 数	追 加 合 格 者 数	入学者数																																																																																																																																				
工 学 部	前期	874 [^]	2,396 [^]	2,396 [^]	2,367 [^]	874 [^]	5 [^]	3 [^]	975 [^]																																																																																																																																				
	後期	101	1,073	806						423	103	地球工学科	前期	175	448	448		175	1	1	195	後期	20	261	240	20	建 築 学 科	前期	80	241	241	80				90	後期	10	127	75	10	物理工学科	前期	211	592	592	211	1			235	後期	24	191	191	25	電 気 電 子 工 学 科	前期	117	328	328	117	2	1		130	後期	13	136	78	14	情 報 学 科	前期	81	186	186	81	1	1		90	後期	9	100	72	9	工業化学科	前期	210	601	601	210				235	後期	25	258	150	25	農 学 部	前期	240	736	736	730	250	2		308	後期	60	799	799	504	60	生物生産科学科		104	(合格者数) 107 (前期86 後期21)						107	生物機能科学科		110	(合格者数) 114 (前期92 後期22)				2		112	生産環境科学科		86	(合格者数) 89 (前期72 後期17)
地球工学科	前期	175	448	448		175	1	1	195																																																																																																																																				
	後期	20	261	240		20				建 築 学 科	前期	80	241	241	80					90	後期	10	127	75	10	物理工学科	前期	211	592	592	211	1			235	後期	24	191	191	25	電 気 電 子 工 学 科	前期	117	328	328	117	2	1		130	後期	13	136	78	14	情 報 学 科	前期	81	186	186	81	1	1		90	後期	9	100	72	9	工業化学科	前期	210	601	601	210				235	後期	25	258	150	25	農 学 部	前期	240	736	736	730	250	2		308	後期	60	799	799	504	60	生物生産科学科		104	(合格者数) 107 (前期86 後期21)						107	生物機能科学科		110	(合格者数) 114 (前期92 後期22)				2		112	生産環境科学科		86	(合格者数) 89 (前期72 後期17)						89										
建 築 学 科	前期	80	241	241		80					90																																																																																																																																		
	後期	10	127	75		10				物理工学科		前期	211	592	592	211		1			235	後期	24	191	191	25	電 気 電 子 工 学 科	前期	117	328	328	117	2	1		130	後期	13	136	78	14	情 報 学 科	前期	81	186	186	81	1	1		90	後期	9	100	72	9	工業化学科	前期	210	601	601	210				235	後期	25	258	150	25	農 学 部	前期	240	736	736	730	250	2		308	後期	60	799	799	504	60	生物生産科学科		104	(合格者数) 107 (前期86 後期21)						107	生物機能科学科		110	(合格者数) 114 (前期92 後期22)				2		112	生産環境科学科		86	(合格者数) 89 (前期72 後期17)						89																								
物理工学科	前期	211	592	592		211	1				235																																																																																																																																		
	後期	24	191	191		25				電 気 電 子 工 学 科		前期	117	328	328	117		2	1		130	後期	13	136	78	14	情 報 学 科	前期	81	186	186	81	1	1		90	後期	9	100	72	9	工業化学科	前期	210	601	601	210				235	後期	25	258	150	25	農 学 部	前期	240	736	736	730	250	2		308	後期	60	799	799	504	60	生物生産科学科		104	(合格者数) 107 (前期86 後期21)						107	生物機能科学科		110	(合格者数) 114 (前期92 後期22)				2		112	生産環境科学科		86	(合格者数) 89 (前期72 後期17)						89																																							
電 気 電 子 工 学 科	前期	117	328	328		117	2	1			130																																																																																																																																		
	後期	13	136	78		14				情 報 学 科		前期	81	186	186	81		1	1		90	後期	9	100	72	9	工業化学科	前期	210	601	601	210				235	後期	25	258	150	25	農 学 部	前期	240	736	736	730	250	2		308	後期	60	799	799	504	60	生物生産科学科		104	(合格者数) 107 (前期86 後期21)						107	生物機能科学科		110	(合格者数) 114 (前期92 後期22)				2		112	生産環境科学科		86	(合格者数) 89 (前期72 後期17)						89																																																						
情 報 学 科	前期	81	186	186		81	1	1			90																																																																																																																																		
	後期	9	100	72		9				工業化学科		前期	210	601	601	210				235	後期	25	258	150	25	農 学 部	前期	240	736	736	730	250	2		308	後期	60	799	799	504	60	生物生産科学科		104	(合格者数) 107 (前期86 後期21)						107	生物機能科学科		110	(合格者数) 114 (前期92 後期22)				2		112	生産環境科学科		86	(合格者数) 89 (前期72 後期17)						89																																																																						
工業化学科	前期	210	601	601	210				235																																																																																																																																				
	後期	25	258	150	25					農 学 部	前期	240	736	736	730	250	2		308	後期	60	799	799	504	60	生物生産科学科		104	(合格者数) 107 (前期86 後期21)						107	生物機能科学科		110	(合格者数) 114 (前期92 後期22)				2		112	生産環境科学科		86	(合格者数) 89 (前期72 後期17)						89																																																																																						
農 学 部	前期	240	736	736	730	250	2		308																																																																																																																																				
	後期	60	799	799	504					60	生物生産科学科		104	(合格者数) 107 (前期86 後期21)						107	生物機能科学科		110	(合格者数) 114 (前期92 後期22)				2		112	生産環境科学科		86	(合格者数) 89 (前期72 後期17)						89																																																																																																					
生物生産科学科		104	(合格者数) 107 (前期86 後期21)						107																																																																																																																																				
生物機能科学科		110	(合格者数) 114 (前期92 後期22)				2		112																																																																																																																																				
生産環境科学科		86	(合格者数) 89 (前期72 後期17)						89																																																																																																																																				

2. 合格者 最高点・最低点・平均点(総点)調

学 部	日 程	満 点	総 点				
			最 高 点	最 低 点	平 均 点		
総 合 人 間 学 部	前 期	(文 系)	800	604.33	501.58	529.90	
		(理 系)	800	539.00	430.00	470.51	
	後 期		800	586.99	501.33	532.88	
文 学 部	前 期	700	558.50	448.00	475.55		
	後 期	700	507.75	453.75	472.52		
教 育 学 部	前 期	900	666.58	555.08	590.15		
	後 期	900	604.32	534.74	555.83		
法 学 部	前 期	750	595.25	464.00	500.29		
	後 期	500	381.75	355.00	366.10		
経 済 学 部	前 期	(一 般)	800	593.25	467.25	502.93	
		(論 文)	1,000	758.16	432.50	511.21	
	後 期		950	604.80	505.30	544.18	
理 学 部	前 期	650	506.00	334.00	379.60		
	後 期	400	334.00	268.00	286.63		
医 学 部	前 期	1,250	1,024.00	852.50	906.44		
	後 期	1,400	1,088.10	992.75	1,031.95		
薬 学 部	前 期	950	673.33	542.75	581.84		
	後 期	950	719.37	609.87	639.65		
工 学 部	前 期	1,000	768.75	533.25	600.62		
	後 期						
工学部学科別							
工学部学科別	前 期	地球工学科	1,000	751.25	533.25	581.52	
		建築学科	1,000	741.16	542.41	594.55	
		物理工学科	1,000	742.91	561.75	608.78	
		電気電子工学科	1,000	724.41	571.58	617.39	
		情報学科	1,000	768.75	565.25	630.65	
		工業化学科	1,000	746.08	544.91	589.75	
		地球工学科	後 期	1,100	819.50	724.50	762.98
	建築学科	後 期	(A選抜)	500	373.00	303.50	332.30
			(B選抜)	650	339.50	300.00	325.10
	工学部学科別	後 期	物理工学科	1,100	869.00	703.00	744.81
電気電子工学科			1,000	825.51	615.79	707.16	
情報学科			300	228.00	156.00	184.33	
工業化学科			1,000	710.00	550.00	604.96	
農 学 部	前 期	1,050	749.33	582.00	624.49		
	後 期	810	606.06	475.40	510.81		

(備考) 1) 法学部・経済学部の外国学校出身者のための選考を除く。
2) 総点については、前期・後期とも合格発表時のものである。

3. 志願者・入学者 出身高校等所在都道府県別調

上段...志願者数
下段...入学者数

都道府県	学 部										計
	総合人間	文	教育	法	経済	理	医	薬	工	農	
北海道	29	14	10	18	22	57	12	7	30	20	219
青森	3	2		1	4	5		3	3	5	26
岩手				3	1	7			1		12
宮城	13	6		10	14	23			7	7	80
秋田		4	1	2	2	7			7	5	28
山形		6	4	2	1	6	2	1	2	1	25
福島	2	1	4	6	10	12	6		14	4	59
茨城	16	14	7	3	17	35	4	5	25	16	142
栃木	5	8		4	14	10	2		4	3	50
群馬	5	6	3	6	14	16	4		13	8	75
埼玉	13	17	2	8	22	38	2	8	29	17	156
千葉	26	9	3	10	31	67	6	4	43	15	214
東京	112	72	35	48	135	196	52	18	105	86	859
神奈川	31	35	15	18	54	83	17	8	74	40	375
新潟	5	5		6	12	30	4	4	14	6	86
富山	3	10		3	2	11	4	1	7	6	47
石川	4	8	1	14	2	19	7	2	26	16	99
福井	9	19	2	17	4	11	4		22	20	108
山梨	1	1	4	1	8	6	3		2	1	27
長野	9	10	2	7	12	21	4	5	24	16	110
岐阜	12	13	1	24	18	40	9	8	36	10	171
静岡	28	23	7	26	12	41	10	7	80	34	268
愛知	51	45	29	90	68	133	31	37	191	97	772
	9	11	7	20	14	22	5	7	68	23	186

都道府県	学 部										計
	総合人間	文	教育	法	経済	理	医	薬	工	農	
三重	15	12	6	26	11	40	13	8	60	15	206
滋賀	9	15	13	23	20	34	6	9	82	33	244
京都	52	110	17	182	161	126	69	32	491	168	1,408
大阪	103	146	44	246	226	264	103	82	741	374	2,329
兵庫	71	87	14	169	162	179	111	37	372	182	1,384
奈良	21	59	22	94	106	69	46	16	382	89	904
和歌山	8	12	5	18	18	24	15	2	56	46	204
鳥取	7	7		6	8	5	3	1	12	6	55
島根	2	9		2	3	4	4		11	5	40
岡山	11	17	6	23	17	34	19	6	67	21	221
広島	21	17	15	45	25	39	11	10	69	23	275
山口	6	10	3	12	8	26	2	5	21	17	110
徳島	4	8	2	7	15	6	4		16	4	66
香川	10	8	2	22	17	24	6	2	52	20	163
愛媛	5	6	3	16	10	17	11	3	40	10	121
高知	2	3	2	12	3	14	6	2	23	7	74
福岡	38	37	11	37	23	87	15	9	97	33	387
佐賀	6	8	3	5	6	10	3	4	20	4	69
長崎	4			10	6	9		1	12	9	51
熊本	12	18	7	7	4	19	2	1	16	3	89
大分	3	8		3	5	10		4	10	2	45
宮崎	2	1	1	4	8	6		2	6	3	33
鹿児島	10	13	5	16	9	22	16	4	27	12	134
沖縄	6		1		3	3		1	11	6	31
検定	8	7	3	9	24	24	12	4	16	10	117
その他											
合計	813	946	315	1,321	1,377	1,969	660	363	3,469	1,535	12,768
	130	224	63	357	241	301	103	80	975	308	2,782

(備考) 外国学校出身者のための選考を除く。

4. 志願者・入学者 入学資格取得年別調

学 部	志 願 者						入 学 者					
	総 数	現 役 13.3卒	浪 人 12.3卒	浪 人 11.3卒	浪 人 10.3卒	浪 人 9.3以前卒	総 数	現 役 13.3卒	浪 人 12.3卒	浪 人 11.3卒	浪 人 10.3卒	浪 人 9.3以前卒
総合人間 学 部	人	490	221	60	15	27	人	72	52	4	1	1
	検	8	4	3		1						
		60.3%	39.7%					55.4%	44.6%			
文 学 部	946	589	280	49	5	23	224	121	85	13		5
	検	7	5	1	1		検	1				
		62.3%	37.7%					54.0%	46.0%			
教育学部	315	191	100	15	3	6	63	41	19	2		1
	検	3	3									
		60.6%	39.4%					65.1%	34.9%			
法 学 部	1,321	843	379	58	8	33	357	210	133	11		3
	検	9	2	1	1		検	5				
		63.8%	36.2%					58.8%	41.2%			
経済学部	1,377	689	448	128	41	71	241	127	92	15	5	2
	検	24	10	2	5	1	検	6				
		50.0%	50.0%					52.7%	47.3%			
理 学 部	1,969	1,095	543	126	46	159	301	169	113	13	4	2
	検	24	6	5	5	1	検	7				
		55.6%	44.4%					56.1%	43.9%			
医 学 部	660	278	134	49	33	166	103	51	37	10	2	3
	検	12	5	4			検	3				
		42.1%	57.9%					49.5%	50.5%			
薬 学 部	363	203	87	26	12	35	80	44	32	2	1	1
	検	4			1		検	3				
		55.9%	44.1%					55.0%	45.0%			
工 学 部	3,469	2,318	898	153	35	65	975	599	338	29	3	6
	検	16	5	5	1	4	検	1				1
		66.8%	33.2%					61.4%	38.6%			
農 学 部	1,535	851	486	104	31	63	308	158	128	19	1	2
	検	10	3		4		検	3				
		55.4%	44.6%					51.3%	48.7%			
合 計	12,768	7,547	3,576	768	229	648	2,782	1,592	1,029	118	17	26
	検	117	43	21	18	7	検	28				1
		59.1%	40.9%					57.2%	42.8%			

[外国学校出身者のための選考に係る入学資格取得年別調 (外数)]

学 部	志 願 者			入 学 者		
	総 数	現 役 12.4~13.3卒	浪 人 12.3以前卒	総 数	現 役 12.4~13.3卒	浪 人 12.3以前卒
法 学 部	人	37	3	人	6	人
	他	37	3	他	6	6
		92.5%	7.5%		100.0%	
経済学部	16	15	1	4	4	
	他	15	1	他	4	4
		93.75%	6.25%		100.0%	

検...大学入学資格検定合格者
 専...高等専門学校出身者
 他...その他の入学資格取得者

公開講座

農学研究科附属演習林公開講座 森のしくみと働き 芦生演習林への招待

農学研究科附属演習林では、森林に関する理解を深めていただく機会のひとつとして、芦生演習林において、昨年に引き続き一般の方々を対象とした講座を開講します。

芦生演習林の自然とそのしくみや森林を利用する方法等を講義し、解説したいと考えています。多数の方々の参加を歓迎いたします。

プ ロ グ ラ ム

8月1日(水)	芦生の自然について(講義) 開講挨拶 芦生演習林の概要 森と海のつながり 海から森を眺める 世界の森林・植生 芦生の樹木識別入門	演習林長 大 畠 誠 一 講 師 中 島 皇 教 授 田 中 克 助 教 授 安 藤 信 技 官 光 枝 和 夫
8月2日(木)	天然林内での講義並びに実習 演習林長 大 畠 誠 一 教 授 竹 内 典 之 助 教 授 安 藤 信 助 教 授 柴 田 昌 三 講 師 西 村 和 雄	講 師 中 島 皇 助 手 寄 元 道 徳 助 手 濱 本 な お 助 手 中 西 麻 美
8月3日(金)	芦生の森と人(講義並びに実習) 閉講挨拶	演習林長 大 畠 誠 一 教 授 竹 内 典 之 講 師 中 島 皇 技 官 北 川 新 太 郎 演習林長 大 畠 誠 一

日 程 8月1日(水)13時~8月3日(金)12時(2泊3日)

会 場 京都大学大学院農学研究科附属演習林芦生演習林
(京都府北桑田郡美山町芦生)および美山町自然文化村(美山町中)

交通手段 自家用車または路線バス

定 員 50人(応募者多数の場合は抽選)

受 講 料 7,800円(但し、宿泊費、交通費などは別途)

申込方法 官製往復ハガキ(1人につき1枚)に住所、氏名、年齢、職業と連絡先(電話番号・FAX番号)、交通手段(自家用車または路線バス利用)を記入し、返信用はがきに郵便番号、あて先を記入のうえ6月29日(金)《必着》までにお申込みください。

申込み及び問い合わせ先

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
 京都大学農学部等教育・研究協力課研究協力掛宛
 TEL(075)753-6411
 FAX(075)753-6020
 E-mail kenkyo11@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

(大学院農学研究科)

お知らせ

平成13年度創立記念行事音楽会の開催

本学では、6月18日の創立記念日を祝し、下記日程のとおり音楽会を開催いたします。本学学生・教職員の来聴を歓迎します。

名 称	山下洋輔（ピアノ）ジャズ&クラシック
演奏者	山下洋輔（ジャズピアニスト）
日 時	6月15日（金） 開場：午後5時30分 開演：午後6時30分 終演：午後8時30分（予定）
会 場	京都コンサートホール （京都市左京区下鴨半木町1-26）
プログラム	T. モンク : ラウンド・ミッドナイト 山下洋輔 : 仙波山 R. シューマン : トロイメライ M. ラヴェル : ボレロ



他

演奏者略歴

山下洋輔（ジャズピアニスト）

1942年、東京生まれ。69年、「山下洋輔トリオ」を結成。フリー・フォームのエネルギッシュな演奏でジャズ界に大きな衝撃を与える。モントルー、ノースシー、ニューポートなど著名ジャズ・フェスティバルに数多く出演し、海外でも高い評価を得る。

数度のメンバー交替の後、83年いっばいで山下洋輔トリオを解散。以降はソロ・ピアノをはじめオーケストラや和太鼓など様々なジャンルの音楽との共演を意欲的に行い、活動の幅を広げる。

88年、ベースのセシル・マクビー、ドラムスのフェロン・アクラフと「山下洋輔ニューヨーク・トリオ」を結成。

92年アルバム『クルディッシュ・ダンス』（ヴァーヴ/ユニバーサル）を発表、「スイング・ジャーナル」誌ジャズディスク大賞日本ジャズ賞及び読者人気投票「アルバム・オブ・ジ・イヤー」を受賞する。

94年4月、ニューヨーク、カーネギー・ホールで開催されたジャズの名門レーベル、ヴァーヴの「設立50周年記念コンサート」に日本からただ一人招かれる。

95年5月、ジョー・ロヴァーノを加えたニューヨーク・トリオでヨーロッパ・ツアーを実施。

ガーシュイン生誕100周年にあたる98年、パリで佐渡 裕指揮によるラムルー管弦楽団と「ラブソディ・イン・ブルー」を共演、国内でもシンシナティ・ポップス、新日フィル、神奈川フィル、京響などこの曲を何度も演奏した。同年、今村昌平監督の映画「カンゾー先生」の音楽を担当。『カンゾー先生 オリジナル・サウンドトラック』（ヴァーヴ/ユニバーサル）をリリース。この仕事で、「毎日映画コンクール」音楽賞、「日本アカデミー賞」優秀音楽賞、さらに98年度の芸術選奨文部大臣賞（大衆芸能部門）を受賞する。

2000年1月東京オペラシティ・コンサートホール、4月大阪フェスティバルホールで、自作のピアノ協奏曲「即興演奏家の為のエンカウンター」を発表する。9月末には15年ぶりとなるジャズのソロピアノ・アルバム「レゾナント・メモリーズ」（ヴァーヴ/ユニバーサル）をリリース。11月、ニューヨーク・トリオの日本ツアーに合わせ、自作曲を中心としたビッグバンドのコンサートを東京で開催。

一方、演奏活動の他、洗足学園大学ジャズ・コースの客員教授・代表として後進の指導にあたっている。

また、多数の著書を持つエッセイストとしても知られ、最新作は『ピアニストを笑うな!』（晶文社）『つきよのおんがくかい』（福音館書店）ほかのユニークな絵本も発表している。

備 考：1．入場無料（入場の際は、本学学生証または職員証を呈示してください。）

2．プログラムは当日会場で配布します。

3．定員は1,600人先着順とします。演奏中は入場できません。

4．問い合わせ先：学生部学生課課外教養担当 ☎内線2511